

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率（%）

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国 語	算 数	理 科
全 国	6 6 . 8	5 8 . 0	5 7 . 1
福島県	6 5	5 5	5 6
南相馬市	6 1	5 6	5 2

南相馬市立小高小学校 全国学力・学習状況調査分析

- 1 実施日 令和7年 4月17日（木）本体調査
- 2 調査対象 第6学年児童（9名）
- 3 調査内容 （1）教科に関する調査（国語、算数・理科）
（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

成果

- 国語：時間の経過による言葉の変化に気付くことができている。（知・技（3））
- 算数：簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができている。（Dデータの活用）
- 理科：電流と電磁石の関係について理解できている。（A「エネルギー」を柱とする領域）

課題

- 国語：書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えて書くことができなかった。（思・判・表B）
- 算数：伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な情報を選んで記述する問題ができなかった。（C変化と関係）
- 理科：身の回りの金属が、電気を通す物か磁石に引き付けられる物かについての理解ができなかった。（A「粒子」を柱とする領域）

（2）児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 朝食を毎日食べていますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 友達関係に満足していますか。

課題が見られた項目

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 新聞を読んでいますか。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、国語では「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の内容について、算数では「測定」「変化と関係」の領域について、理科では「『粒子』を柱とする領域」について課題が見られました。本校では今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 知識・技能を定着させる習熟の時間の確保と思考・判断・表現を高める学び合い活動の充実
- ・ 学んだ知識や技能を使って、応用（活用）問題に取り組む場の工夫
- ・ 「言葉でまとめる活動」「書く活動」の学習、生活への位置付け
- ・ 個別最適化された適用問題や計画的な家庭学習による定着度アップ

6 保護者（や地域）の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭での学習について

- ・ 家庭学習時間を確保し、学習の様子について励ましや称賛の言葉をかけてください。

○家庭での生活について

- ・ 読書や新聞を読む環境や習慣づくりにご協力ください。
- ・ ゲームやスマホなどを使用する時間やルールについて、しっかり話し合ってください。